

日頃の教育に対する工夫、及び今後の教育への抱負

物質・生命化学科 金 在虎

昨年に引き続き、今年度も優秀教員に選出され、素直に嬉しいです。今年は新型コロナの感染予防のために、遠隔方式で授業する必要があり、今までの対面方式とは異なるやり方で実施しておりますが、理解度を確認しながら丁寧に説明する授業方針は変わらず行っています。

●日頃の教育に対する工夫

授業によっては、知識詰め込み型と参加型のどちらでしか効果が発揮しない科目もあると思いますが、私の場合、両方を上手く使って学生のモチベーションや学習能力を高めるような授業を試みています。個人的には一方的な演説型よりはコミュニケーション型が好きなので、以前までは学生さんと授業内容についてお話ししながら、授業を進めておりましたが、遠隔となり、厳しい状況でした。それで次のような工夫を取りながら授業を進めております。

- ・授業は Classroom というコミュニティを用いて実施しています。
- ・授業日の一週間前に授業動画の内容を PDF ファイル化した授業内容を専用のサイトに掲載して、授業日に掲載する授業動画を見ながら所々空欄を埋めることで、授業ノートとしても使用できます。
- ・授業動画では、前回の復習から始まり、次回の予告で終わります。
- ・授業関連演習問題を解答することで、その場で学んだ内容を復習させます。
- ・各チャプター(2~3 週間)が終わったら、小テストを対面で行い、授業内容の理解度を確認します。採点した結果物は学生さんに配布し、間違った問題を確認することで、再度授業内容を復習させます。
- ・授業日の時間になると、履修学生全員にその日の授業内容の紹介と課題などについて google meet にて 10 分ほど説明をし、質問などがある場合、その場で対応しています。

●今後の教育への抱負

以前アメリカで約 2 年間留学した時に、担当教授の授業を手伝ったことがあります。その日に学ぶ授業内容を事前にネットで公開し、学生さんに予習をさせ、授業当日はその内容と課題について 4~5 人グループ別で討論をして、発表を行うような内容でした。もちろん、日本とは教育環境や内容が異なることもあり、そのまま適用することは正直に難しいとは思いますが、授業中で楽しく自分の意見を述べる学生さんの姿が非常に印象的でした。今後は、様々なコニュにティサイトを利用しながら、学生さんが楽しめる授業内容と積極的に参加可能な授業づくりをして、私自身も楽しめる授業をしたいと思っております。